

令和2年度 学校自己評価表(計画段階・実施段階)

福岡県立玄洋高等学校長 印

学校運営計画(4月)				評価(3月)					
学校経営方針		「師弟同行」「開拓者精神」を本校教育のバックボーンとして、個に応じたきめ細やかな指導を通して、一人一人の生きる力を伸ばし、「なりたい自分」の実現に向けた教育活動を推進する。							
昨年度の成果と課題		年度重点目標		具体的目標					
ア	年間を通して授業中の巡回指導を実施し、チャイム席を含めた授業規律の向上を図ることができた。授業改善に積極的に取り組み玄洋メソッドを取り入れた授業を実践した。 授業規律の更なる確立を図るとともに、3年間を見通した計画的なキャリア教育を実践が必要である	(1) 「(知)学ぶ喜びを知り、知性と教養を高め合う生徒」の育成	ア 授業規律の確立を徹底するとともに、ICT機器を積極的に活用し「わかる」喜びと達成感を感じさせる学習指導を行い、基礎・基本の定着と論理的思考力・表現力の育成を図る	イ 生徒自身が主体的に活動できる場を意図的・計画的に設定し、課題発見・解決能力を育成するとともに、最後まで考え抜く力の育成を図る	ウ 教育活動全体を通してキャリア教育を充実し、進路に関する情報を収集、整理・分析する力、進路を選択する力を向上させる				
			イ	(2) 「(徳)礼節・規律を重んじ、思いやりのある生徒」の育成	ア 「時を守り、場を清め、礼を正す」姿勢を基本とし、自ら節度と規律ある行動ができる自己指導能力を高める	イ 対話を重視した粘り強い生徒指導を通して、あいさつや身だしなみなどの社会性の育成や規範意識の醸成を図る。教師や生徒との対話をとおして他者の声を傾聴し、異なる価値観や考え方を尊重できる資質・能力の育成を図る	ウ インターンシップやボランティア活動などへの主体的な参加を促し、コミュニケーション能力を高め多様な人々と目標に向けて協力する能力の育成を図る		
					ウ	(3) 「(体)挑戦する気概のある、心身ともにたくましい生徒」の育成	ア 何度転んでも立ち上がり、一歩前に踏み出す人間的な逞しさを育成する	イ 文化祭や体育大会などの学校行事や部活動等における生徒のチャレンジを後押しし、成功体験を積み重ねて自他を大切にできる自己有用感や自己肯定感を高める	ウ キャリア教育をはじめとする種々の教育活動とおして「なりたい自分」を見つけ、自己実現に向けて準備する力、確実に実行する力を向上させる
							エ	(4) 保護者・地域から信頼され、地域と共に育つ、開かれた学校づくりを推進する。	ア 預かった生徒の能力や可能性を最大限引き出すとともに多様な個性を伸ばし、進路を保障することで、「郷土から愛され信頼される学校」づくりを目指す
具体的目標		具体的方策		評価	現状と課題、解決策				
教務部	教務	授業規律の確立を徹底する。 (チャイム席を守る、黙想・挨拶を行う、私語をしない、居眠りをしない等の指導を行う。)	廊下等での呼びかけや教室でのチャイム席指導を行う。						
			職員の共通理解による足並みをそろえた、粘り強い授業規律の指導を行う。						
			各学年巡回指導担当及び生徒指導課と連携し、状況に応じた適切な指導を行う。						
			観点別評価を実施し、指導と評価の一体化の推進を図る。						
	学直しや玄洋メソッド、ICT機器等を用いた学習活動を通して、生徒一人一人の学習意欲を高める。また基礎学力の向上を図るための授業改善を行う。	主体的に課題や疑問に取り組む学習活動やICT機器等を活用した積極的な授業改善を行う。							
		玄洋メソッドを用いた分かる授業と義務教育段階の学び直し学習を通して、学習意欲を高める。							
		個別の遅刻カードを用いた対話による個別指導を実施する。							
		保護者との連携を深め、生徒一人一人の基本的な生活習慣の定着を図る。							
個別の指導(遅刻カード、対話による指導、保護者との連携、表彰等)を通して、生徒の生活リズムの向上を図る。	定期的に、遅刻・早退・欠課のない生徒の表彰を学年で行い、生徒一人一人の出席率の向上を図る。								
	教科間や分掌間での連携を密にし、教職員間の協力的体制づくりを呼びかける。								
	具体的で明解な計画作りにより、教職員の役割意識を明確にし、生徒が活躍できる学校行事を行う。								
	体験入学において、授業や部活動など学校生活で活動している生徒の姿を紹介すると共に、中学生と本校生が交流する機会を作る。								
庶務	中学生とその保護者及び地域の方々に、地域と共に育つ本校の姿をアピールする。	学校案内などの刊行物を通して学校内外で活動している生徒の姿を示す。							

教務部	広報企画	「郷土から愛され信頼される学校」づくりを図る。	本校の教育活動の理解促進や情報交換をするために、中学校訪問と学習塾訪問を適宜実施し、連携を深める。			
			入試説明会や進学相談会において、庶務課や生徒会と密に連携し、玄洋高校が目指す生徒像や募集方針等を丁寧に説明する。			
			夏秋の体験入学や進路相談事業、入試説明会や進学相談会等において、写真等の校内掲示を含めた情報公開に努め、本校をアピールする。			
教務部	研修	本校での取組の「見える化」を図る。	玄洋高校Newsを発行し、地域や中学校に本校の取組をPRする。			
			卒業後の進路実績等を広報誌に明記することで、様々な分野で本校卒業生が活躍していることをPRする。			
			ホームページの「最新情報」を更新し、本校生徒の活動の様子を積極的に発信する。			
教務部	研修	玄洋メソッドを用いた授業改善をさらに推進し、浸透させていくことを目指す。	年2回実施する学びの基礎診断の結果を分析し、生徒の学力や学習の取り組み方を把握したうえで実態に合った授業改善を図る。			
			毎月1回設定した玄洋メソッドデー(GMD)においては、全職員で玄洋メソッドを用いた授業を実施する。			
			公開授業、研究授業週間では全教科玄洋メソッドを用いた授業を実施する。			
		生徒がもつ多様な特性について理解を深めることができる取組を実施し、思いやりのある生徒の育成を目指す。	スクールカウンセラーによる校内研修を通して生徒がもつ多様な特性についての理解を深める。			
		授業アンケートの結果を分析することによって生徒の現状を把握し、授業改善に役立てる。				
		図書委員を中心とした図書館活動を活発化させ、本に触れる生徒を増やし、豊かな感性の醸成を目指す。				
生徒育成部	生徒指導	心身ともにたくましい生徒を育成するために必要な教員としての資質、能力の向上を目指す。	各分掌や学年と連携して校内研修として生徒情報交換会を実施し、生徒一人一人に必要な配慮や支援についての理解を深める。			
			救急法に関する講習会を校内研修で実施することで、生徒が安心して学校行事や部活動に参加できる環境をつくる。			
			専門研修(キャリアアップ講座)及び体育研究所専門研修(短期研修講座)への積極的な受講を促す。			
生徒育成部	生徒指導	生徒自身が主体的に活動できる場面を意図的・計画的に設定し、課題発見・解決能力を育成するとともに、最後までやり抜く力の育成を図る。	生徒に多くのことに挑戦させ、生徒の自信につながる言葉かけを行う。			
			生徒会を中心とした各種ホームルーム委員をはじめとし、あらゆる生徒に役割を与え、学年集会等で活躍できる場面を設ける。			
			与えられた役割に対して遂行できた際には、クラスや学年集会等において賞賛の場を設ける。			
		対話を重視した粘り強い生徒指導を通して、あいさつや身だしなみなどの社会性の育成や規範意識の醸成を図る。教師や生徒との対話を通して他者の声を傾聴し、異なる価値観や考え方を尊重できる資質・能力の育成を図る。	生徒観察を十分にを行い、コミュニケーションを図りながら生徒と接する。			
		日々の学校生活における生徒観察のもと、校内外に関わらず適時性・即時性を逃さずとその場での指導を行う。				
		困難を要する生徒への指導にはできるだけ複数で当たり、その後の教師間による情報の共有を密に行う。				
生徒育成部	保健	文化祭(文化発表会)や体育大会などの学校行事や部活動等における生徒のチャレンジを後押しし、成功体験を積み重ねて自他を大切にできる自己有用感や自己肯定感を高める。	集会や各行事、部活動においては、設定された時間を厳守する習慣(やり直しをする等)をつけさせる。			
			生徒会を中心とした委員会活動においては、生徒が主体的に活動できるように、生徒と十分に連携を取りながら指導する。			
			新入生体験入部の実施並びに退部した生徒への再入部の呼びかけを各部の部長と連携を取りながら粘り強く行う。加入率60%を目指す。			
		毎時間の授業に集中できるよう授業中の安易な保健室利用を減らす。	保健課の掲示板を充実させ、生活習慣や健康管理についての意識向上を図る。			
		感染症予防対策(手洗い・マスク・換気等)を実施し、自分で体調管理ができるようにする。				
		各学年巡回指導担当者と連携し、保健室へも巡回をしてもらうことで、不要不急の保健室来室者を減らす。				
生徒育成部	保健	発達や心に課題を抱える生徒を支援するため、校内組織や外部機関(SC, SSW, 訪問相談員)と更なる連携を図る。	学年や特別支援教育コーディネーターとの連携、活用を図る。			
			教育相談委員会等で情報共有を行い、外部機関と連携した教育相談機能を充実させる。			
		「みんなが掃除をしている、いつも学校がきれいである」状況を作る。学校全体で、清掃の徹底を図る。	掃除用具の過不足をなくすため、美化委員会と連携した在庫管理を随時実施する。			
		清掃強化週間を中心に、学校全体で清掃美化への意識を高める。				

キ ャ リ ア 教 育 部	進路指導	基礎、基本を重視した学力の伸長を図り、自らの力を客観的に判断して取り組むことのできる能力を養う。	各種検定取得を目標とする課外を実施し、基礎学力の向上を目指す。				
			学びの基礎診断、外部模試などの分析を学年、教科と適宜行いながら組織的に対策をとり、授業内容に反映させる。				
			総合的な学習(探究)の時間を活用し、系統的に作文・小論文に取り組み、生徒の論理的思考力、自己表現力の育成を図る。				
		様々な教育活動とおして、他者と接したり人の話を聞く機会を設け、コミュニケーション能力を高めながら自己の望ましい人間像を構築する。	アカデミックインターンシップやカタリバ、「ようこそ、先輩！」などの行事をおして他者の生き方に触れながら、自己の将来を考えさせる。				
			大学、専門学校、ハローワーク等の連携を図り、マナー講座や社会で必要とされる人材を目指すためのセミナーを実施する。				
			課外、勉強合宿、夏季セミナー等の内容を充実させ、出席を督促しながら継続した形で学習活動に取り組ませる。				
	人材育成	希望進路先についての必要な知識や学力を身につけ、その実現に向けての継続した取組を行う。	上級学校の学部・学科研究、職業についての調べ学習を教育活動の様々な機会を利用して行い、正しい知識をつけさせる。				
			担任、就職担当との連携を密にして生徒の能力、適性に合った学校、職業の選択を行わせる。				
		3年間を通して「なりたい自分」になるために、「自ら育む力」を育成する。	3年次に将来設計をして、就職指導を通し、自己の課題を克服して自己実現を果たす。				
			2年次にインターンシップやジョブシャドウイングに参加し将来設計を検討する上での情報収集をさせる。				
			1年次に進路ガイダンスやカタリバを通して自分を理解し、自分の将来について考えさせる。				
		インターンシップやボランティア活動など様々な教育活動を通して、社会人基礎力を育成する。	3年次就職・公務員ガイダンスを通して、ビジネスマナー、礼儀作法を身に付けさせる。				
2年次就職希望者をインターンシップに積極的に参加させ、就職に必要な素養を身に付けさせる。							
ボランティア活動を通して、参加生徒の社会への奉仕する気持ちを育てる。							
進路に関する情報を収集する力、進路を選択する力を向上させる。	3年次就職・公務員ガイダンスを通して、就職する企業、職種の情報を得る。						
	アカデミックインターンシップに参加し、自分の進路に必要な情報を収集させる。						
	1年次の進路ガイダンスによって、社会で働くことについて考えさせる。						
郷土から必要とされる生徒を育成し、入学時より生徒の力を伸ばす。	元岡豊年祭りといった地域の諸行事に積極的に参加し、交流を行う。						
	地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域の一員として育成する。						
学 年	第1学年	○基本的生活習慣の定着を図るとともに、学ぶ意欲を高めさせ、学習の基礎基本の確立を図る。 ○礼節・規律を重んじ、思いやりのある生徒を育成するための基礎を確立させる。 ○挑戦する気概のある、心身ともにたくましい生徒を育成するための基礎を確立させる。	学び直しの学習を活用し、中学校段階までの学習内容の定着と高等学校の学習の基礎を固める。 アカデミックインターンシップやカタリバ等の体験的な学習を通して進路に対する意識の向上を図る。 欠席・遅刻を安易にしないよう指導し、チャイム席や各集会の際に「時を守る」ことを徹底する。 教室を含む校内の学習環境の整備を促し、日ごろの清掃活動を通して「場を清める」指導に努める。 率先した声掛けと挨拶を行い、正しい言葉遣いと敬語を常用させる「礼を正す」指導を常時徹底する。 学級活動や生徒会活動、部活動や各種行事を通してリーダーシップの涵養とフォロワーシップを養成し、諸活動に積極的に参加する意欲を育成する。 エンカウンターやSSTを通して、他者を思いやることのできる良好な人間関係やコミュニケーション能力の育成を図る。				
		○本校を担う中間学年として、集団形成の一員意識を持ち、活力あふれる学校生活を送ることができる生徒の育成を目指す。 ○学習習慣の確立と学力向上に向けた自主的学習態度の育成を図る。 ○教育活動のあらゆる機会を捉えて、進路情報を提供し、適切な進路を選択する能力を育成する。	社会生活の基本となる「時を守る」と「挨拶の励行」を、一人一人が学校生活の中で実践できるよう指導する。 ルールを自主的に守る規範意識を育て、周囲の者に対する思いやりをもった生徒の育成を目指す。 日々の授業を大切にすることを意識させ、基礎学力の向上を目指すとともに、学習意欲を向上させる。 面談や日頃の声掛けなどで個別指導を行い、生徒の理解度を確認し、学習内容の定着を図る。 系統別に応じた情報提供や自己分析的確に行い、希望進路の早期決定につなげていく。 修学旅行を、「所属感・達成感を高める」「異文化への理解」を主題として実施し、広い視野を育む絶好の機会とする。				
		○基本的生活習慣を確立させるとともに、校訓「向学」の精神に基づいて進路決定に必要な学力の向上を図る。 ○学校行事を通して、最上級生としての責任感と連帯感を持たせ、校訓「礼譲」の精神をもって思いやりの精神とコミュニケーション能力を育成する。 ○校訓「進取」の精神に基づき、学校行事等における生徒のチャレンジ精神を涵養し、「なりたい自分」実現のための資質・能力の向上を図る。	正副担任や授業担当が生徒についての情報を交換する場を定期的にもつことで、円滑に授業を進めるとともに、生徒の進路実現に必要な環境を整える。 本鈴前入室や提出物の期限厳守などを徹底し、教材忘れの防止や机上の整理整頓など授業規律を徹底させる。 体育大会や玄洋祭等の学校行事を通して、リーダーシップとフォロワーシップの精神を学び、コミュニケーション能力を高める。 社会人として通用する挨拶などの礼法や身だしなみ、言葉遣いなどを身に付けさせ、社会人基礎力を高める。 個別指導や個人面談などの個に応じた指導を通じて、生徒が適切に進路を選択できるように働きかける。 総合的な学習の時間を通して、「なりたい自分」の姿を明確にし、それを実現するための情報収集を行う。 ボランティア活動等への積極的参加を促し、やればできるという達成感を味わわせ自己有用感を高める。				